

1962年度第2回宜野湾市議会臨時会全議録

1. 1962年9月28日第2回宜野湾市議会臨時会を市役所会議室に招集された。

2. 応招議員は次の通りである。

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
1番	天久 謙太郎	8番	石田 英正	15番	宮城 盛昌
2 "	比嘉 定亮	9 "	安里 安明	16 "	宮里 敏行
3 "	天久 盛雄	10 "	又吉 正弘	17 "	伊佐 貞寿
4 "	安次富 盛信	11 "	石川 繁	18 "	中里 幸助
5 "	石川 真六	12 "	大川 昇	19 "	武島 行男
6 "	仲村 春果	13 "	伊佐 真得	20 "	仲村 盛光
7 "	稻嶺 正康	14 "	仲村 喜永	21 "	古波藏 清次郎

3. 不応招議員はなし。

4. 出席議員は次の通りである。

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
1番	天久 謙太郎	8番	正田 英正	15番	宮城 盛昌
2 "	比嘉 定亮	9 "	安里 安明	16 "	宮里 敏行
3 "	天久 盛雄	10 "	又吉 正弘	17 "	伊佐 貞寿
4 "	安次富 盛信	11 "	石川 繁	18 "	中里 幸助
5 "	石川 真六	12 "	大川 昇	19 "	武島 行男

目録 85頁 目録 85頁

・アノノリ巻紙類

巻紙類
目録

6 番	仲村 春 泉	13 番	伊 佐 真 得	20 番	仲 村 盛 光
7 〃	稻 嶺 正 康	14 〃	仲 村 喜 永	21 〃	古 波 藏 清 次 郎

5. 欠席議員はなし。

6. 市町村自治法第61条の規定により、説明のため出席した者は次の通りである。

市長 仲村 春 勝 助役 具 屋 真 徳 収入役 仲 村 春 松
 総務課長 松 川 正 義 財政課長 当 山 全 喜 経済課長 沢 し 安 一
 建設課長 桑 江 良 徳 水道課長 奥 里 将 俊

7. 本会議の書記は次の通りである。

書記長 松 川 正 義 書 記 照 屋 毅・伊 佐 正 義

8. 議事日程は次の通りである。

- 日程第1. 選挙第1号 議長選挙について。
- 〃 第2. 決定第1号 議席の決定について。
- 〃 第3. 会期の決定について。
- 〃 第4. 会議録署名議員の指名について。
- 〃 第5. 選挙第2号 副議長選挙について。
- 〃 第6. 選挙第3号 常任委員の選任について。
- 〃 第7. 選挙第4号 常任委員長並びに副委員長の選任について。

9. 会議の てん末

事務局長 議席が決定するまで一応任意の議席にお着き願います。
議員定数の半数以上が出席されております。よつて市町村自治法第47条によりまして、本日出席中最年長の伊佐真得議員に臨時議長をお願いします。

臨時議長 私は、ただいま御紹介のありました伊佐真得であります。
おはかり致します。このたびおたがいに当選の栄よを担つて議席を得たのでありますが、同じ市に住みながら初対面の方も少くないようです。そこで住所、職業、氏名の程度で簡単な自己紹介をお願い致したいと思ひますがいかがでしょうか。

(異議なしとよぶ)

臨時議長 御異議がないものと認めます。では1番におすわりの方から順次自己紹介をお願いします。

” 全員出席であります。市町村自治法第53条により議会は成立致しました。
よつて第2回宜野わん市議会臨時会を、これより開会致します。
(午前11時2分)

” 直ちに会議を開きます。

” 日程第1. 選挙第1号議長選挙につてを上程致します。

書記をしてろう読せしめます。

” おはかり致します。選挙の方法は投票、指名推薦のいづれの方法といたしますか。

石 田 選挙の方法といたしましては、投票、指名推薦と二つの方法があるようであります。

私は、指名推薦でやつた方がよいと思ひます。

	(賛成とよぶ)
臨時議長	ただいま石田議員より、指名推薦とすべしとの動議が提出され、所定の賛成者がございましたので、動議は成立致しました。
"	ただいまの動議のとおり、議長選挙は指名推薦によることに御異議ございませんか (異議なしとよぶ)
"	御異議がないものと認め、指名推薦によることに決定致します。
"	暫休けい致します。(午前11時4分)
"	再開致します。(午前11時7分)
"	指名推薦の方法について、おはかり致します。
石田	選考委員を挙げて、その結果を議長に報告し、議長が指名をすと言った方法が良いと思います。
	(賛成とよぶ)
臨時議長	ただいまの動議は所定の賛成者がございましたので、動議は成立致しました。
"	ただいまの動議のとおり、選考委員を挙げて、その結果議長が指名することに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
"	御異議がないものと認め、左様決定致します。
"	暫休けい致します。(午前11時10分)
"	再開致します。(午前11時13分)
"	選考委員の選出方法について、おはかり致します。

安次富	総て議長に1任したい。 (賛成とよぶ)
臨時議長	ただいま安次富議員より、総て議長に1任すべしとの動議が提出され、所定の賛成者ございましたので、動議は成立致しました。
"	ただいまの動議の通り議長1任とすることに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
"	御異議がないものと認め、議長指名とすることに決定致します。
"	では選考委員を指名致します。安次富盛信、天久盛お、中ざとこう助、宮ざと敏行を選考委員に指名することに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
"	御異議がないものと認め、以上4名を選考委員に指名することに決定致します。
"	では選考委員の方々は直ちに選考に移つていただきます。
"	暫休けい致します。(午前11時15分)
"	再開致します。(午前11時21分)
"	選考結果を選考委員の方々から求めます。
安次富	選考の結果古波ぐら清次郎氏を議長適任者として推薦することに、決定致しましたので御報告致します。
臨時議長	おはかり致します。ただいま選考委員より、選考結果がありましとおり古波ぐら清次郎氏を指名推薦による当選人と決定いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。 (全員異議なしとよぶ)

臨時議長

御異議がないものと認め、日程第1。選挙第1号議長選挙について、指名推薦により古波ぐら清次郎氏^を当選人と決定致します。

” これにて私の職務も終了致しましたので、新議長と交代させていただきます。

議長

ただいま皆様方の御推薦によりまして、本市議会議長推薦されました古波ぐら清次郎でございます。なにしろ、浅学非才そのまぐでない事は充分承知致している次第であります。

市界格初めての選挙で、皆様方のはい後には3万2千市民の絶大なる御支援あるものと信じ、微力ながら御引受け申し上る次第であります。

もちろん御引受け申し上げた以上公正無私不偏不党の精神をけん持し、明るい議会の運営に当る所存でございます。

議会活動については、全然経験のない者でありますれば議員各位の御指導と心強い御越へん達を心から御願ひ申し上げ簡単ではございますが、御あいさつと致します。

” 暫休けい致します。(午前11時25分)

” 再開致します。(午前11時27分)

” 日程第2。決定第1号 議席の決定についてを議題と致します。

” 議会会議規則第1条により、くじで以つて決定することに御異議ございませんか。

(異議なしとよぶ)

” 御異議がないものと認め、議会会議規則第1条の規定によつて、くじで以つて決定することに致します。

” くじが終るまで休けい致します。(午前11時29分)

議 長	再開致します。(午前 11 時 35 分)
”	くじの結果を報告致します。(別紙のとおりである)
”	日程第 3。会期の決定についてを、おはかり致します。
安 次 富	別に案件も多くありませんので、本日 1 日でよいと思います。 (賛成とよぶ)
議 長	ただいま安次富議員より、本日の会期 1 日間としたい旨の御意見でございますが、別に御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
”	御異議ないものと認め、本会期は本日 1 日間と決定致します。
”	日程第 4。会議録署名議員の指名について、おはかり致します。
安 次 富	会議録署名議員は議長に指名に 1 任する動議を提出致します。 (賛成とよぶものあり)
議 長	ただいま安次富議員より会議録署名議員は議長の指名議員とする旨の動議が提出され、所定の賛成者がありましたので、動議は成立致しました。 おはかり致します。動議のとおり議長指名とすることに、御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
”	御異議がないものと認め、左様決定致します。よつて議長より指名致します。 1 番 天久さう太郎 20 番 なか村 盛光 の両議員にお願い致します。
”	暫休けい致します。(午前 11 時 40 分)
”	再開致します。(午前 11 時 43 分)

議 長	日程第5。選挙第2号。副議長選挙についてを議題と致します。
”	書記をしてろう読せしめます。
”	おはかり致します。選挙の方法は投票、指名推薦のいずれの方法いたしますか。
安次富	先に行なわれた議長選挙と同じように、指名推薦の方法で進めた方が良いと思う。 (賛成とよぶものあり)
議 長	ただいま安次富議員より指名推薦とすべき旨の動議が提出され、動議は所定の賛成者がありましたので成立致しました。 ただいまの動議のとおり、副議長選挙は指名推薦によることに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
”	御異議がないものと認め、指名推薦によることに決定致します。
”	おはかり致します。議長より選考委員を指名して、選考委員の結果を受けて、議長より副議長を指名することに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
”	御異議がないものと認め、左様決定致します。
”	では選考委員を指名致します。安次富 盛信、天久 盛お、中ざと こう助、 中ざと 敏行 、を選考委員に指名することに御異議ございませんか。 (異議なしとよぶ)
”	御異議がないものと認め、以上の3名を選考委員に指名することに決定致します。
”	では選考委員の方々は直ちに選考に移つていただきます。

議 長	暫休憩致します。(午前 11 時 51 分)
議 長	再開致します。(午前 11 時 54 分)
議 長	選考の結果を求めます。
安 次 富	選考の結果、宮里敏行氏を副議長適任者として推薦することに決定致しましたので御報告致します。
議 長	お諮り致します。ただいま選考委員より選考の結果報告がありました通り、宮里敏行氏を指名推薦による副議長当選人と決定することに、御異議ございませんか(全員異議なしと呼ぶ)
議 長	御異議ないものと認め、日程第 5、選挙第 2 号副議長選挙についてを、指名推薦により宮里敏行氏を副議長当選人と決定致します。
議 長	副議長の就任あいさつ願います。
副 長	ただいま全員の方々の御通知によりまして、はなはだ副議長としてのまくでもございながら、幸に先に議長に就任致しました古波藏清次郎氏は手わん力量ゆたかなものでございまして、私をせいぜい勉強させる意味におきまして一つ御支援をいただきたいと思えます。
	はなはだ簡単ではありますが、ごあいさつにかえさせていただきます。
議 長	暫休憩致します。(午後 0 時)
"	再開致します。(午後 0 時 1 分)
"	日程第 6、選挙第 3 号 常任委員の選任についてを議題と致します。(書記をしてろう読せしめます。)

議 長	お語り致します。委員選任の前に委員数から決めたいと思いますが、御異議ござい せんか、 (異議なしと呼ぶ)
"	御異議がないと認めます。では各常任委員の数を御検討願います。
"	暫休憩致します。(午後0時8分)
"	再開致します。(午後0時10分)
16番	委員の数については、総務常任委員会6名、経工常任委員会7名、財政常任委員会7名 にすれば、充分なる委員会活動が出来ると思います。
議 長	ただいまの御意見は、総務常任委員会6名、経工常任委員会7名、財政常任委員会7名 にしたいとの御意見でございますが、御異議ございせんか、 (異議なしと呼ぶ)
議 長	御異議がないものと認め、左様決定致します。
"	では委員の選任方法について、お語り致します。
"	希望者を集つてその中から選考委員を上げて進めたいと思いますが、御異議ござい せんか。 (異議なしと呼ぶ)
"	御異議がないものと認め以上の方法で進めることに致します。
"	暫休憩致します(午後0時11分)
"	再開致します(午後0時50分)
"	選考の結果が参つておりますので、御報告致します。

議 長	<p>総務常任委員会 安次富盛信、仲村春果、稻嶺正康、伊佐真得、宮城盛昌、宮里敏行、</p> <p>財政常任委員会 石川真六、石田英正、安里安明、石川繁、大川昇、中里幸助、 仲村盛光、</p> <p>経工常任委員会 天久泰太郎、比嘉定亮、天久盛雄、又吉正弘、仲村喜永、伊佐貞寿、 武島行男、</p> <p>” 以上のおり選任することに、御異議ございませんか。 (異議なしと呼ぶ)</p> <p>” 御異議がないものと認め、以上の通り各常任委員会の委員を選任決定致します。</p> <p>” 午前の日程はこれで終ることに致します、午後は3時より再開することに致します。</p> <p>” 休憩致します。(午後0時55分)</p> <p>” 再開致します。(午後3時10分)</p> <p>” 全員出席であります。</p> <p>” 日程第7、選挙第4号 常任委員長並びに副委員長の選任についてを議題と致します。 書記をしてろろ読せしめます。</p> <p>” 選任方法について、お語り致します。</p> <p>” 暫休憩致します。(午後3時11分)</p> <p>” 再開致します。(午後3時17分)</p> <p>各委員会各に別れて、委員長、副委員長を決めて報告する様な方法で進めたいと思うが、御 異議ございませんか。 (異議なしと呼ぶ)</p>
-----	---

議 長	御異議がないものと認め、左様進めることに致します。
"	暫休憩致します。(午後3時20分)
再 開	再開致します。(午後3時50分)
"	ただいま各常任委員会より、選考の結果が参つておりますので報告致します。 総務委員長 安次富 盛信 総務副委員長 伊 佐 真 得 財政委員長 石 田 英 正 財政副委員長 石 川 真 六 経工委員長 武 島 行 男 経工副委員長 天 久 盛 雄
"	以上のとおり選任することに御異議ございませんか。 (異議なしと呼ぶ)
"	御異議がないものと認め、選挙第4号常任委員長並びに副委員長の選任について、以上の通り選任することに決定致します。
"	以上もつて、全日程終了致しました。長時間にわたりどうも御苦勞様でした。 これを以つて、第2回宜野湾市議会臨時会を閉ることに致します。
"	閉会(午後3時55分)

上記会議の次第は書記の記載したものであるが、その内容の正確であることを証するためここに署名する。

1962年9月28日

宜野湾市議会議長

” 臨時議長

伊佐真得



議事録署名議員

Shōtarō Anokue

議事録署名議員

仲村重光

